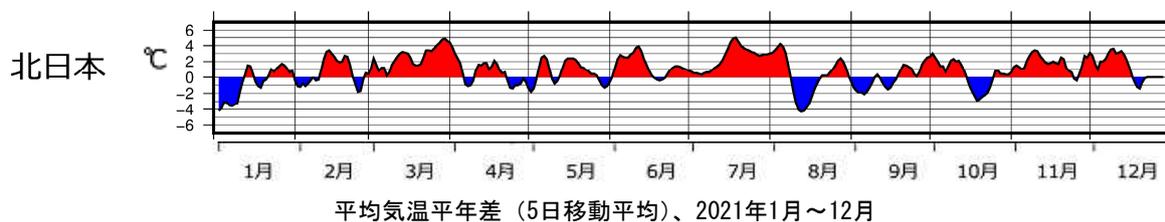


## 2021年（令和3年）の日本の天候（速報）

2021年（令和3年）の日本の天候の特徴：

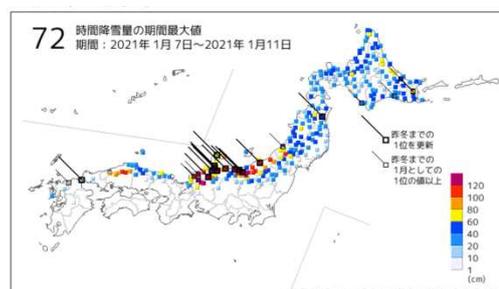
- 気温の高い状態が続き、年平均気温は全国的に高く、特に北日本では1946年の統計開始以来最も高くなっている。

3月、6月～7月、11月と北日本中心に気温がかなり高くなった。特に3月は、寒気の南下が顕著に弱かったため、全国的に気温はかなり高くなり、月平均気温は、北日本（平年差+2.6℃）、東日本（平年差+2.9℃）、西日本（平年差+2.6℃）で1946年の統計開始以来最も高かった。7月中旬から8月上旬は、太平洋高気圧が北日本付近に張り出したため、北海道で猛暑日が続くなど北日本で顕著な高温となった。1月上旬、8月中旬、9月上旬、10月下旬など一時的に気温がかなり低くなる地域があったが、長くは続かなかった。年間を通して気温の高い状態になることが多く、年平均気温（2021年1月～12月）は全国的に高く、北日本では、平年差+0.9℃と1946年の統計開始以来1990年と並んで第1位タイの高温となっている。



- 前年12月～1月にかけて、日本海側では各地で大雪となった

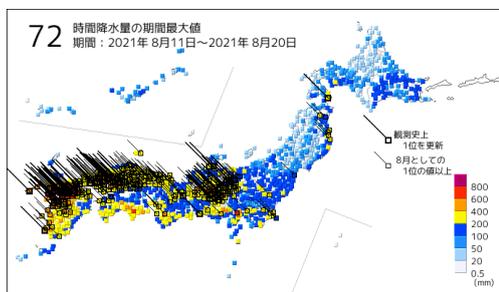
前年12月から1月中旬にかけて、強い寒気が南下したため、日本海側ではしばしば大雪となった。1月7日から11日にかけては、72時間降雪量が新潟県高田で187センチに達したのをはじめ、日本海側の19地点で記録を更新するなど、大雪が続き、多数の車両の立ち往生など大規模な交通障害が発生した。冬の降雪量は、西日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側で多かった。



72時間降雪量の期間最大値  
(2021年1月7日～11日)

- 8月中旬は東・西日本で記録的な大雨となった

8月中旬は、前線が本州付近に停滞したため、東・西日本では各地で長期間にわたって大雨となり、68地点で72時間降水量の多い記録を更新した。月降水量は西日本日本海側で平年比371%、西日本太平洋側で平年比297%といずれも8月として最も多い記録を更新した（統計開始は1946年）。



72時間降水量の期間最大値  
(2021年8月11日～20日)

# 1 概況

2021年は、年間を通して気温の高い状態が続き、低温は一時的だったため、年平均気温（2021年1月～12月）は全国的に高かった。特に、北日本は、平年差+0.9℃と1946年の統計開始以来第1位タイの高温となっている。1月前半は強い寒気が南下し、低温となり、日本海側では大雪による交通障害が発生したが、1月下旬以降は4月上旬にかけて、全国的に寒気の南下が弱く、気温の高い状態が続いた。特に3月は寒気の南下が顕著に弱く、北・東・西日本で記録的な高温となった。6月以降8月上旬にかけて、北日本では気温の高い状態が続き、特に7月中旬から8月上旬にかけては、太平洋高気圧が北日本付近に張り出したため、旬平均気温がかなり高い状態が続いた。8月中旬は、太平洋高気圧が弱まり、前線が本州付近に停滞し、活動が活発になったため、東・西日本では大雨が続き、西日本ではこの時期としては記録的な低温となった。太平洋高気圧が弱い状態は9月上旬にかけて続き、このころ東日本で顕著な低温となった。10月前半は寒気の南下が弱く、全国的に顕著な高温となったが、10月後半からは、寒気が西回りで南下することが多くなり、北日本は高温傾向だったが、西日本や沖縄・奄美では、低温傾向となった。

季節別の特徴は以下のとおり。

## 【冬】

冬の前半と後半で気温の変動が大きかった。冬の前半は、強い寒気が流れ込んだ影響で、記録的な大雪となった所もあり、冬の降雪量は西日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側で多くなった。後半は、寒気の南下が弱く、たびたび低気圧が北日本付近を通過した。冬の降水量は、前半の寒気と後半の低気圧の影響をともに受けた東日本日本海側や低気圧の影響で大雨となる日があった沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側で多かった。西日本は冬の後半に高気圧に覆われやすく、冬の日照時間は、西日本日本海側で平年比127%、西日本太平洋側で平年比119%とともに統計開始以来1位の多照となった（統計開始は1946/47年冬）。

## 【春】

3月に日本付近への寒気の南下が顕著に弱かったことなどから、春の平均気温は全国的にかなり高かった。北日本では、期間を通して低気圧や前線の影響を受けやすく、西日本では5月に梅雨前線の影響を受けやすかったため、北日本と西日本太平洋側では春の降水量がかなり多くなった。沖縄・奄美は、移動性高気圧や太平洋高気圧に覆われやすく、梅雨前線の影響が小さかったため日照時間がかなり多かった。なお、梅雨前線が平年より早く北上したため、西日本の多くの地方では、平年よりかなり早い梅雨入りとなった（確定値）。

## 【夏】

7月上旬の梅雨前線による大雨や、8月中旬を中心に本州付近に停滞した前線による大雨などにより、東日本太平洋側と西日本の夏の降水量はかなり多かった。一方、北日本では、7月後半を中心に太平洋高気圧に覆われ、その前後も高気圧に覆われやすかったため、夏の日照時間はかなり多く、夏の平均気温はかなり高くなった。また、北日本日本海側では夏の降水量がかなり少なくなった。沖縄・奄美では、7月の終わりに台風第6号が沖縄付近をゆっくり進んだのをはじめ、熱帯低気圧や台風の影響をたびたび受けたため、夏の降水量は多く、日照時間は少なかった。

## 【秋】

9月～10月は、西日本を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、秋雨前線や台風の影響を受けにくかった。11月は北日本では寒気の影響が弱く、また低気圧の影響を受けやすく、低気圧の前面の南から暖かい空気が流れ込みやすかった。これらのことから、北日本と西日本では秋の平均気温が高くなり、秋の降水量は、北日本日本海側で多くなった一方、東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美では少なかった。秋の日照時間は、全国的に多かった。

## 2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

### (1) 平均気温

年平均気温は、全国的に高く、北・西日本でかなり高かった。札幌（北海道）、秋田（秋田県）、福岡（福岡県）等の14地点で年平均気温の高い方からの1位の値を更新し、小樽（北海道）、仙台（宮城県）、奈良（奈良県）等の19地点で1位タイの値を記録している。

### (2) 降水量

年降水量は、北日本太平洋側、東・西日本で多く、東日本太平洋側ではかなり多かった。大阪（大阪府）で年降水量の多い方からの1位の値を更新している。北日本日本海側と沖縄・奄美は平年並だった。

### (3) 日照時間

年間日照時間は、西日本太平洋側で平年並だったほかは多く、北・東日本日本海側と沖縄・奄美ではかなり多かった。館山（千葉県）と西表島（沖縄県）で年間日照時間の多い方からの1位の値を更新し、水戸（茨城県）と銚子（千葉県）で1位タイの値を記録している。

地域平均平年差（比）と階級（2021年）（12月20日までのデータによる）

	平均気温 平年差 °C(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	0.9(+)*	105(+) 日 100(0) 太 110(+)	111(+)* 日 115(+)* 太 107(+)
東日本	0.7(+)	114(+)* 日 110(+) 太 115(+)*	106(+) 日 111(+)* 太 105(+)
西日本	0.6(+)*	115(+) 日 113(+) 太 117(+)	105(+) 日 107(+) 太 103(0)
沖縄・奄美	0.3(+)	95(0)	110(+)*

	平均気温 平年差 °C(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北海道地方	1.0(+)*	107(+) 日 100(0) オ 106(0) 太 117(+)	112(+)* 日 117(+)* オ 113(+)* 太 105(+)
東北地方	0.8(+)*	103(0) 日 100(0) 太 105(0)	109(+)* 日 113(+)* 太 106(+)
関東甲信地方	0.7(+)	114(+)*	107(+)
北陸地方	0.6(+)	110(+)	111(+)*
東海地方	0.7(+)	117(+)	103(+)
近畿地方	0.6(+)	117(+) 日 100(0) 太 123(+)*	105(+) 日 108(+) 太 104(+)
中国地方	0.6(+)	121(+)* 陰 115(+)* 陽 128(+)*	106(+) 陰 108(+) 陽 105(+)
四国地方	0.5(+)	110(+)	103(0)
九州北部地方	0.8(+)*	115(+)	106(+)
九州南部・奄美地方	0.4(+) 本 0.4(+) 奄 0.2(+)	111(+) 本 114(+) 奄 99(0)	102(0) 本 102(0) 奄 102(0)
沖縄地方	0.4(+)	95(0)	113(+)*

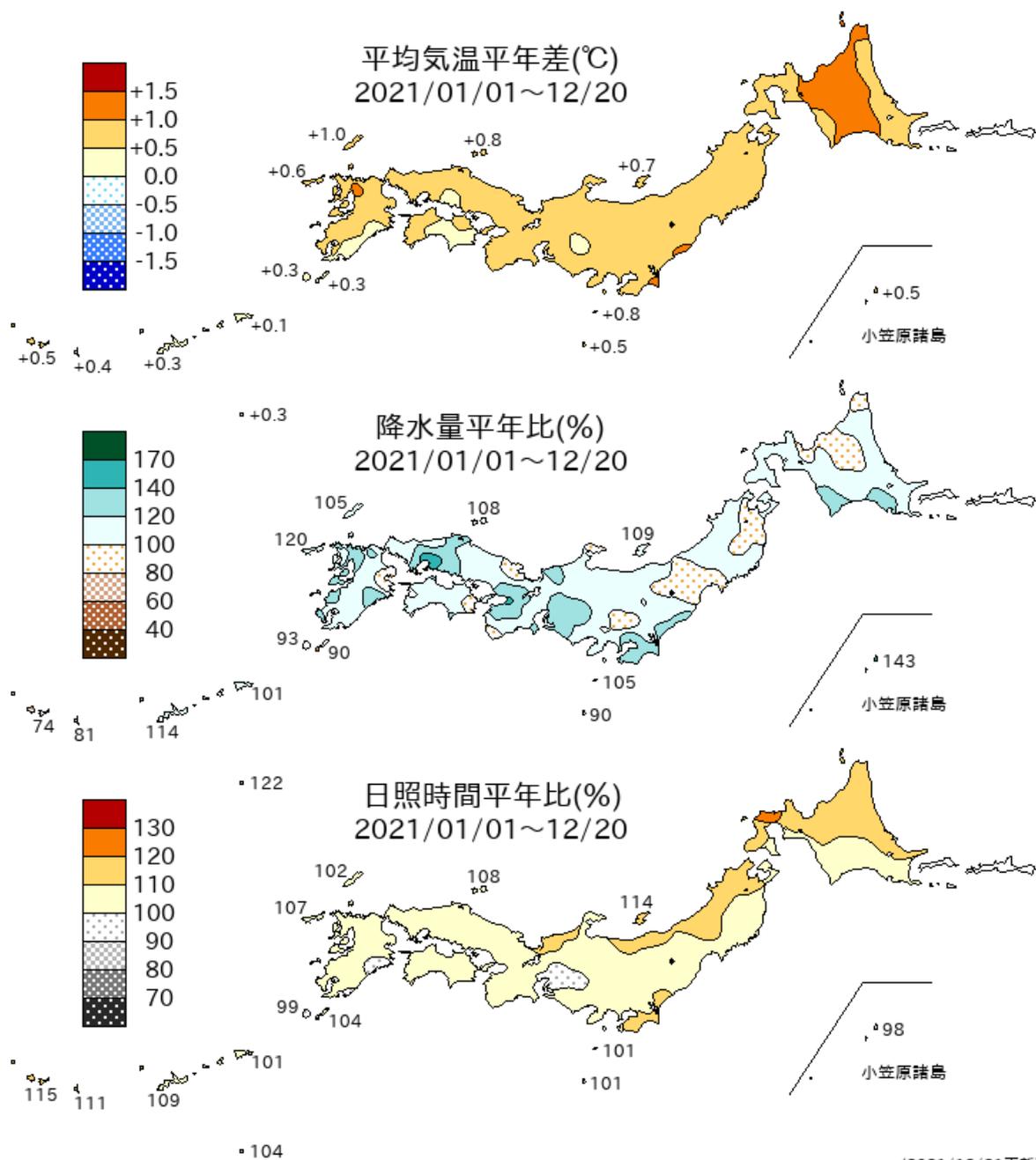
階級表示 ー：低い（少ない） 0：平年並 +：高い（多い）  
\*はかなり低い（少ない）、かなり高い（多い）を表す

地域表示：日：日本海側 陰：山陰 本：本土（九州南部）  
オ：オホーツク海側 陽：山陽 奄：奄美  
太：太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は153地点である。

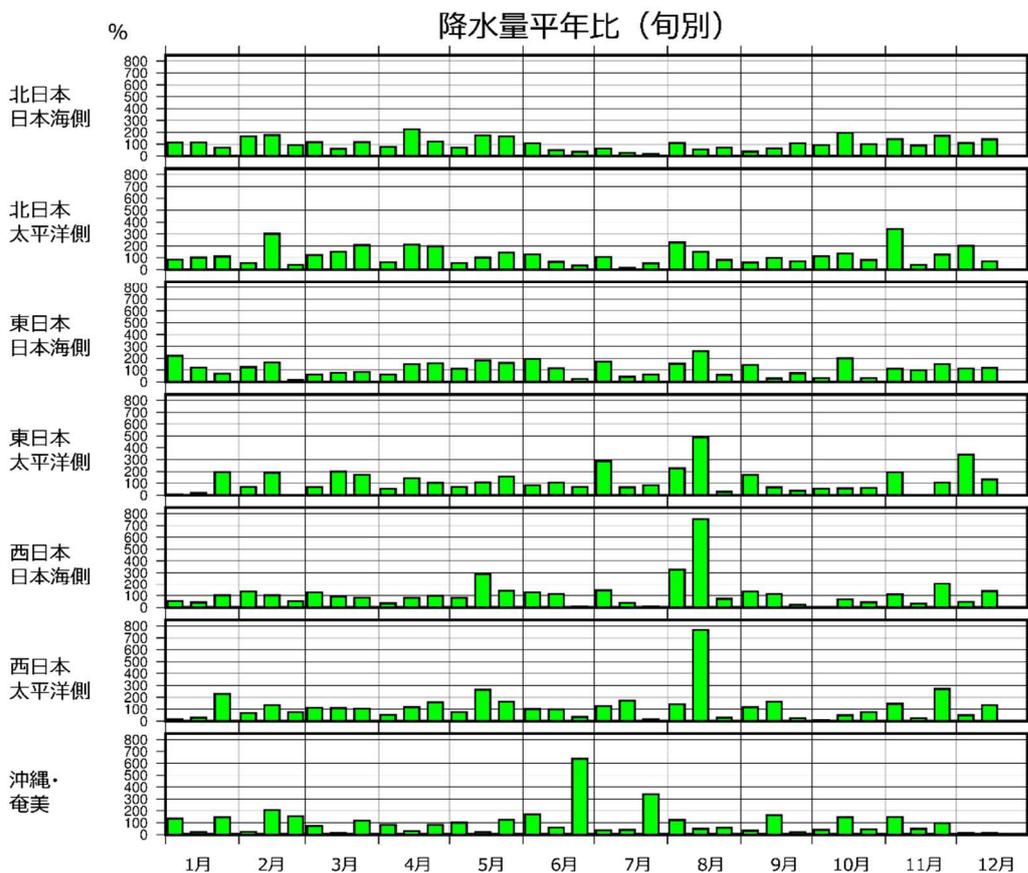
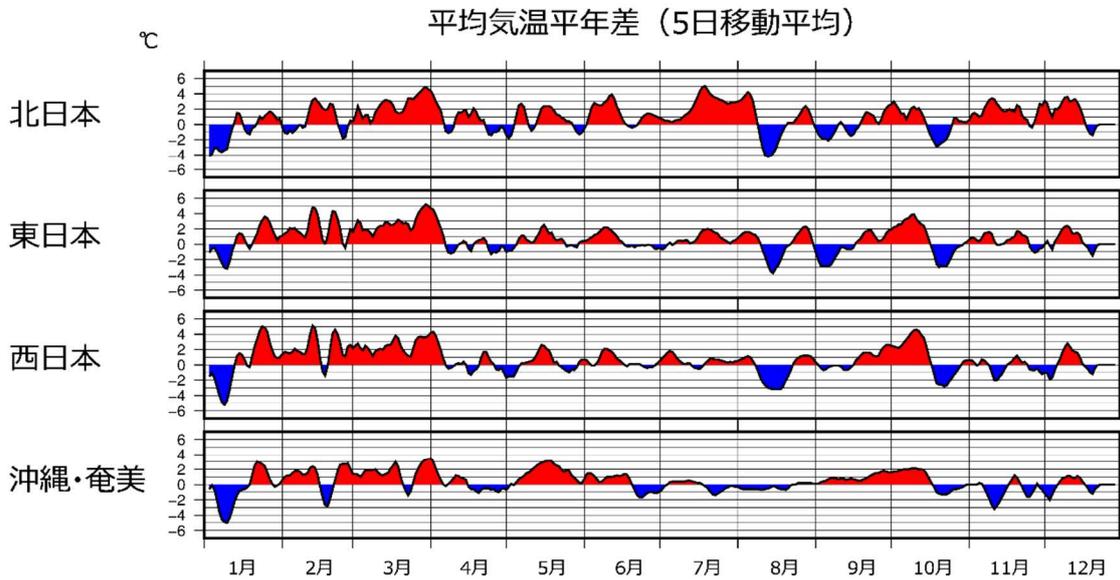
- ・「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

平年差（比）図（2021年）（2021年12月20日までのデータによる）

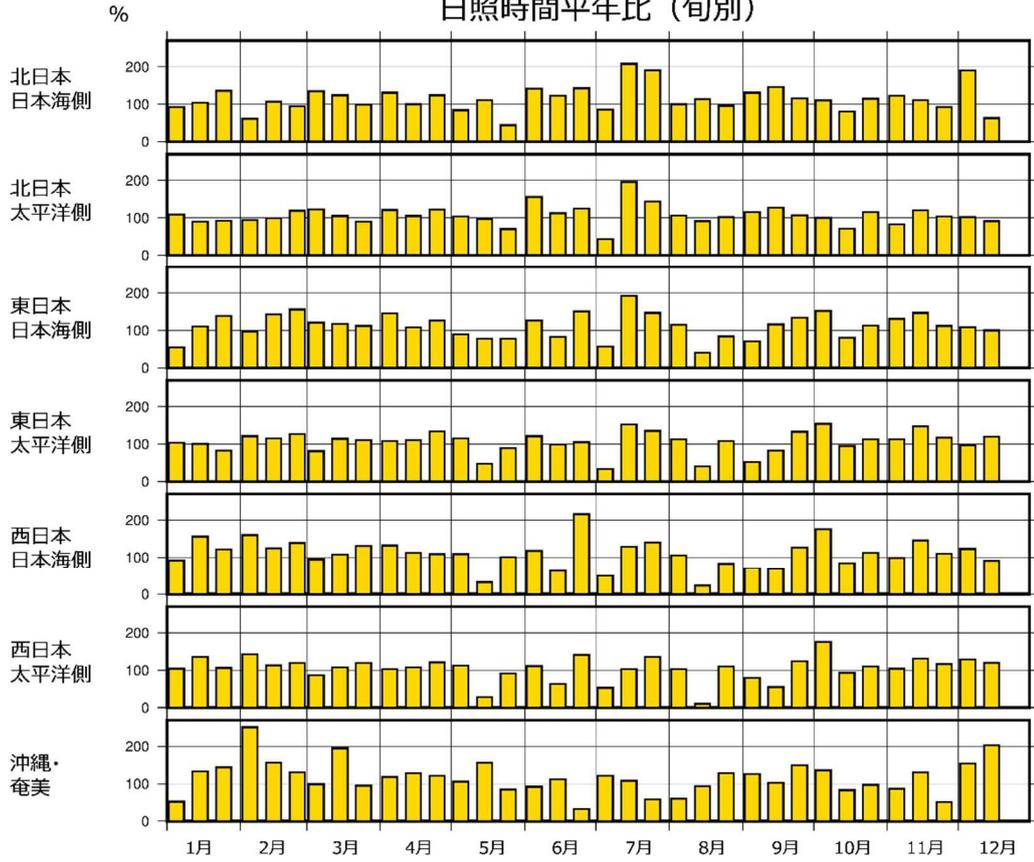


(2021/12/21更新)  
All rights reserved. Copyright(c) Japan Meteorological Agency

地域平均平年差（比）の経過（2021年）（12月20日までのデータによる）



### 日照時間平年比（旬別）



### 観測史上1位の値（月、3か月、年別値）を更新した地点数と地域

- ・全国 153 地点（降雪の深さ、最深積雪は 105 地点）の気象台等の統計値の中で、観測史上 1 位となった地点数を記載した。
- ・値は 1 位を更新した地点数。タイ記録は含まない。タイ記録がある場合には「値々」として横に併記した。
- ・地域は観測史上 1 位（タイ記録を含む）となった地域を記載した（最深積雪を除く）。

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	高い方から	低い方から	多い方から	少ない方から	多い方から	少ない方から	多い方から	大きい方から
1月			1		3	1	1	
2月	22、8々		1		40 東太、西日、沖奄			
冬			1		22 西	1		
3月	126、5々 北、東、西		4					
4月			1々		1			
5月	5、2々 沖奄		5			1		
春	15、5々		1					
6月	2、1々		3		3 北			
7月	10、2々		1	8、1々	11 北日			
8月			30 西					
夏	5、2々		2	4	6 北日			
9月				1	4 北日			
10月				1	1			
11月	3、1々		2		15			
秋			1	1	6			
年(速報) 2021年	14、19々 北		1		2、2々			

平均気温の地域表示

北：北日本  
東：東日本  
西：西日本  
沖奄：沖繩・奄美

降水量、日照時間、降雪の深さの地域表示

北日：北日本日本海側  
東日：東日本日本海側  
西日：西日本日本海側  
沖奄：沖繩・奄美  
北太：北日本太平洋側  
東太：東日本太平洋側  
西太：西日本太平洋側  
北：北日、北太ともに1位  
東：東日、東太ともに1位  
西：西日、西太ともに1位

各地方の梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り(注1)	平 年	梅雨明け(注1)	平 年	梅雨の時期の降水量 平年比(注2)
沖 縄	5月5日ごろ(-)	5月10日ごろ	7月3日ごろ(+)*	6月21日ごろ	140%(+)
奄 美	5月5日ごろ(-)	5月12日ごろ	7月3日ごろ(+)	6月29日ごろ	125%(+)
九州南部	5月11日ごろ(-)*	5月30日ごろ	7月11日ごろ(-)	7月15日ごろ	85%(0)
九州北部	5月11日ごろ(-)*	6月4日ごろ	7月13日ごろ(-)	7月19日ごろ	44%(-)*
四 国	5月12日ごろ(-)*	6月5日ごろ	7月19日ごろ(0)	7月17日ごろ	80%(-)
中 国	5月12日ごろ(-)*	6月6日ごろ	7月13日ごろ(-)	7月19日ごろ	114%(+)
近 畿	6月12日ごろ(+)	6月6日ごろ	7月17日ごろ(-)	7月19日ごろ	94%(0)
東 海	6月13日ごろ(+)	6月6日ごろ	7月17日ごろ(0)	7月19日ごろ	115%(+)
関東甲信	6月14日ごろ(+)*	6月7日ごろ	7月16日ごろ(0)	7月19日ごろ	128%(+)
北 陸	6月13日ごろ(0)	6月11日ごろ	7月14日ごろ(-)	7月23日ごろ	89%(0)
東北南部	6月19日ごろ(+)	6月12日ごろ	7月16日ごろ(-)	7月24日ごろ	77%(-)
東北北部	6月19日ごろ(+)	6月15日ごろ	7月16日ごろ(-)	7月28日ごろ	70%(-)*

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)\*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)\*: かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 全国153の气象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6~7月、沖縄と奄美は5~6月)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)\*: かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)\*: かなり少ない、の階級区分を表す。

階級区分は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%	33%	33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い

### 3 季節別の天候経過

冬（2020年12月～2021年2月）：

- 冬の前半に強い寒気の影響を断続的に受け、北日本では寒冬だったが、東・西日本と沖縄・奄美では暖冬だった
- 冬の降雪量は、西日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側で多かった
- 冬の日照時間は、西日本で記録的に多かった

冬の前半（12月から1月上旬）は、シベリア高気圧とアリューシャン低気圧の勢力がともに強く、冬型の気圧配置が強まり、北・東日本日本海側を中心に曇りや雪または雨の日が多かった。また、12月の中頃と12月下旬後半から1月上旬にかけて、日本付近に断続的に強い寒気の流れ込んだ影響で、日本海側を中心に記録的な大雪となった所があり、北陸地方などで大規模な交通障害が発生したほか、沖縄・奄美では、前線や湿った空気の影響で大雨となった所があった。

冬の後半は、シベリア高気圧の勢力が弱く、冬型の気圧配置は長続きしなかった。北日本付近を低気圧が通過することが多かったことから、北日本では曇りや雪または雨の日が多かったが、東日本以西では高気圧に覆われて晴れる日が多かった。また、2月中旬には日本付近で低気圧が急速に発達し、北・東日本を中心に大荒れとなった日があったほか、沖縄・奄美では低気圧の影響で大雨となった所があった。

このため、冬の降水量は、東日本日本海側と沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側で多かった。冬の日照時間は、北日本日本海側で少なかった一方、西日本日本海側と西日本太平洋側の平年比が、それぞれ127%、119%と、冬として1位の多照（統計開始は1946/47年冬）となるなど、西日本でかなり多く、東日本で多かった。

気温は、冬の前半に断続的に強い寒気の流れ込んだ影響で、12月は北日本と西日本で低く、1月は沖縄・奄美でかなり低く、北日本で低くなったが、冬の後半は一転して寒気の南下が弱く、また、北日本付近を通過する低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだ時期もあったことから、冬の平均気温は北日本で低かったほかは、高かった。冬の前半と後半で気温の変動が大きかった。

日本海側の冬の降雪量は、冬の前半に断続的に強い寒気が流入し、記録的な大雪となった所があり、西日本日本海側でかなり多く、東日本日本海側で多かったが、北日本日本海側では、気温が高く雨となった日もあったことから平年並だった。

平均気温：東・西日本と沖縄・奄美で高かった。北日本では低かった。

降水量：東日本日本海側と沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側で多かった。一方、北・東日本太平洋側と西日本では少なかった。

日照時間：西日本でかなり多く、東日本で多かった。一方、北日本日本海側で少なかった。北日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

春（3月～5月）：

- 春の平均気温は、全国的にかなり高かった
- 春の降水量は、北日本と西日本太平洋側でかなり多かった
- 春の日照時間は、沖縄・奄美でかなり多かった

3月は、北からの寒気の流入が顕著に弱かったため、全国的にかなりの高温で、北・東・西日本では統計開始の1946年以降で最も高くなった。本州付近を低気圧と高気圧が交互に通過したため、全国的に天気は数日の周期で変わり、平年に比べ低気圧や前線の影響を受けやすかつ

た北日本太平洋側では降水量がかなり多かった。一方、移動性高気圧に覆われやすかった沖縄・奄美では降水量が少なく日照時間が多かった。4月は、本州付近を移動性高気圧が通過して寒気と暖気の影響を交互に受けたため、北・東・西日本では気温の変動が大きかった。低気圧や前線の影響を受けやすかった北日本では降水量がかなり多くなった。全国的に日照時間が多く、低気圧や前線の影響を受けにくかった東日本日本海側と沖縄・奄美ではかなり多かった。5月は、平年に比べ梅雨前線が早く北上し、南から暖かい空気が流れ込むとともに、太平洋高気圧に覆われ日照時間が多かった沖縄・奄美では気温がかなり高く、1946年の統計開始以来5月として最も高い記録を更新した。中旬を中心に本州付近に停滞した活発な梅雨前線の影響などで、降水量は西日本でかなり多く、日照時間は北・東日本日本海側でかなり少なかった。なお、梅雨前線が平年に比べ早く北上したため、九州南部と九州北部地方は5月11日ごろに、四国・中国地方では12日ごろに、それぞれ平年よりかなり早く梅雨入りした（確定値）。

これらのことから、春の平均気温は全国的にかなり高く、降水量は北日本と西日本太平洋側でかなり多かった。また、日照時間は沖縄・奄美でかなり多かった。

平均気温：全国的にかなり高かった。

降水量：北日本と西日本太平洋側でかなり多く、東日本と西日本日本海側で多かった。沖縄・奄美では少なかった。

日照時間：沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側と東日本日本海側で多く、北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本で平年並だった。

## 夏（6月～8月）：

- 東日本太平洋側と西日本では、夏の降水量がかなり多かった
- 北日本では、夏の日照時間がかなり多く、夏の平均気温がかなり高く、北日本日本海側の夏の降水量がかなり少なかった
- 沖縄・奄美では、夏の降水量が多く、夏の日照時間が少なかった

6月は、太平洋高気圧の北への張り出しが例年より弱かったため、梅雨前線は日本の南海上に停滞し、本州付近は高気圧に覆われやすく、北日本では高気圧通過後に暖かい空気が入りやすかった。北日本では記録的な多照となり、気温もかなり高かったほか、東日本と西日本日本海側でも月間日照時間が多かった。7月上旬は東・西日本付近に梅雨前線が停滞し、東日本太平洋側では大雨で大規模な土砂災害が発生した所もあった。7月中旬以降8月上旬にかけては北日本を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、北日本で7月の降水量はかなり少なく、猛暑日が観測された所もあるなど気温はかなり高かった。また、北日本日本海側では7月として記録的な多照となった。8月8日には台風第9号が鹿児島県に上陸、その後西日本を北西進し、温帯低気圧となって日本海沿岸、北日本を進んで各地で大雨、大荒れの天気となった。8月中旬から下旬の前半にかけては、オホーツク海付近の高気圧が日本海まで張り出し、日本の南では太平洋高気圧が西に張り出して、本州付近は前線が停滞しやすかった。断続的に各地で大雨となり、西日本では8月として記録的な多雨となった。夏としては、東日本太平洋側の7月上旬の梅雨前線による大雨や、8月中旬頃の本州付近に停滞した前線の大雨で、東日本太平洋側と西日本の降水量はかなり多かった。また、北日本は高気圧に覆われやすく、気温はかなり高く、日照時間はかなり多かった。特に北日本日本海側では、日照時間の平年比は133%で1946年の統計開始以来1位の多照となり、降水量もかなり少なかった。

沖縄・奄美では、6月は梅雨前線の影響を受けやすかった。7月は、前半は太平洋高気圧に覆われやすかったが、後半は台風第6号が沖縄地方にゆっくり接近して、大型で強い勢力のまま23日には宮古島付近を北西進したため、曇りや雨の日が多かった。8月は、中旬以降は太平洋

高気圧に覆われた日が多かったが、熱帯低気圧や台風第9号、第10号、第12号の影響で曇りや雨の日が多かった。熱帯低気圧や台風の影響をたびたび受けたため、夏の降水量は多く、日照時間は少なかった。

この夏に発生した台風は9個で、日本に接近した台風は7個、このうち日本に上陸した台風は2個だった。

平均気温：北日本でかなり高く、東日本で高かった。西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

降水量：東日本太平洋側と西日本でかなり多く、沖縄・奄美が多かった。一方で、北日本日本海側でかなり少なかった。北日本太平洋側と東日本日本海側では平年並だった。

日照時間：北日本でかなり多く、東日本日本海側が多かった。一方で、沖縄・奄美で少なかった。東日本太平洋側と西日本では平年並だった。

## 秋（9月～11月）：

○ 秋の平均気温は、北・西日本で高かった

○ 秋の降水量は、北日本日本海側で多く、東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美で少なかった

○ 秋の日照時間は、全国的に多く、北日本日本海側、東日本と沖縄・奄美でかなり多かった

秋の前半は、秋雨前線の活動が弱く台風の影響も小さく、東・西日本を中心に高気圧に覆われて晴れの日が多かった。一方、後半は大陸の寒気が西回りで沖縄・奄美に入りやすい一方、北日本は寒気の影響を受けにくく、また、偏西風から切り離されて動きの遅い低気圧の影響を受けやすかった。

9月は、北日本では月を通して高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったため、月間日照時間が多く、特に日本海側では記録的に多かった。一方、東・西日本では月半ばまでは前線の影響を受けて曇りや雨の日が多かったが、その後は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。沖縄・奄美は月を通して高気圧に覆われやすく晴れた日が多かった。

10月は、北日本は低気圧や前線の影響を受けやすかったために曇りや雨の日が多く、月降水量は日本海側でかなり多かった。一方、東・西日本では高気圧に覆われて晴れた日が多く、月降水量は西日本日本海側でかなり少なく、月間日照時間は西日本太平洋側でかなり多くなった。沖縄・奄美では上旬を中心に高気圧に覆われる日が多かった。また、気温は、月の前半は全国的に平年を大きく上回る日が多かったが、後半は強い寒気が流れ込んだ影響で全国的に低温となり、気温の変化が大きかった。

11月は、北日本は寒気の影響が弱く、加えて動きの遅い低気圧の前面で南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温がかなり高くなるとともに、月降水量が多くなった。また、寒気の影響が弱かったため日本海側では月間日照時間が多かった。東・西日本は、中旬に帯状の高気圧に覆われて晴れた日が多く、東日本では月間日照時間がかなり多く、西日本で多かった。一方、沖縄・奄美では大陸からの寒気の影響を受けやすく、気温が低かった。

これらのことから、秋の平均気温は北・西日本で高かった。降水量は北日本日本海側で多く、東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美で少なかった。日照時間は全国的に多く、北日本日本海側、東日本と沖縄・奄美でかなり多くなった。

平均気温：北・西日本で高かった。東日本と沖縄・奄美は平年並だった。

降水量：北日本日本海側が多かった。一方、東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美で少なかった。北日本太平洋側と東日本日本海側では平年並だった。

日照時間：北日本日本海側、東日本と沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側と西日本では多かった。

## 4 全国気候表 2021 年

全国気候表 (12月20日までのデータによる)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	10.7	(+1.1)	1064.5	(97)	117	2005.8	(119)
稚内	8.5	(+1.1)	979.5	(91)	145	1666.6	(116)
北見枝幸	7.6	(+0.9)	1168.5	(104)	144	1714.1	(116)
旭川	8.8	(+1.1)	954.0	(89)	145	1751.7	(113)
留萌	9.4	(+1.0)	1032.0	(93)	135	1775.7	(118)
羽幌	9.4	(+1.1)	1331.5	(104)	153	1757.9	(115)
岩見沢	9.4	(+1.0)	1231.0	(102)	146	1858.1	(112)
倶知安	8.5	(+0.9)	1512.5	(104)	169	1646.2	(115)
小樽	10.2	(+1.0)	1200.0	(98)	148	1831.9	(117)
寿都	10.1	(+0.9)	1388.5	(115)	161	1707.6	(123)
網走	8.2	(+0.9)	829.5	(101)	93	2017.5	(111)
紋別	8.0	(+1.0)	950.5	(114)	106	1872.9	(114)
雄武	7.3	(+0.9)	919.0	(103)	119	1807.7	(112)
釧路	8.0	(+1.0)	1311.5	(123)	91	2032.2	(107)
根室	7.7	(+0.8)	1173.0	(115)	102	1875.9	(105)
帯広	8.7	(+1.1)	1001.5	(111)	88	2008.1	(102)
広尾	8.7	(+1.1)	2206.0	(131)	122	1800.5	(102)
室蘭	10.1	(+0.9)	1392.5	(120)	128	1740.9	(102)
苫小牧	9.3	(+1.0)	1296.0	(106)	112	1792.6	(108)
浦河	9.4	(+0.8)	1380.0	(125)	113	1974.3	(110)
函館	10.8	(+1.0)	1235.0	(107)	146	1809.6	(106)
江差	11.6	(+0.9)	1269.5	(106)	148	1693.4	(119)
青森	11.9	(+0.8)	1264.0	(98)	142	1777.0	(113)
深浦	12.0	(+0.7)	1532.0	(103)	155	1666.9	(117)
むつ	11.0	(+0.8)	1585.0	(120)	144	1618.1	(104)
八戸	11.8	(+0.9)	1001.5	(97)	105	1964.0	(109)
秋田	13.3	(+0.9)	1849.5	(110)	165	1750.9	(116)
盛岡	11.9	(+0.9)	1241.5	(99)	125	1736.4	(105)
大船渡	12.9	(+0.9)	1697.5	(111)	104	1784.2	(105)
宮古	12.1	(+0.9)	1406.5	(105)	103	1914.3	(105)
仙台	14.1	(+0.9)	1177.0	(93)	101	1912.3	(107)
石巻	13.1	(+0.8)	1064.5	(99)	88	2070.7	(109)
山形	13.1	(+0.6)	975.0	(83)	133	1714.8	(108)
新庄	12.2	(+0.8)	1973.5	(103)	181	1480.8	(113)
酒田	14.1	(+0.8)	1985.5	(104)	174	1772.8	(116)
福島	14.4	(+0.6)	1170.5	(98)	108	1770.2	(103)
若松	13.1	(+0.7)	1192.0	(98)	140	1711.2	(106)
白河	12.9	(+0.6)	1498.0	(104)	108	1819.2	(104)
小名浜	15.2	(+1.1)	1809.5	(127)	98	2160.5	(108)
水戸	15.4	(+0.9)	1659.5	(123)	96	2178.7	(113)
館野(つくば)	15.4	(+0.7)	1522.0	(116)	101	2089.7	(108)
宇都宮	15.3	(+0.6)	1740.0	(115)	105	2013.6	(107)
日光	8.2	(+0.6)	2162.5	(99)	130	1765.8	(103)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
前橋	16.1	(+0.7)	1307.5	(106)	102	2135.5	(103)
熊谷	16.5	(+0.7)	1177.0	(91)	91	2150.1	(106)
秩父	14.5	(+0.6)	1123.0	(82)	92	1999.8	(106)
東京	17.0	(+0.8)	2048.5	(130)	106	2007.6	(108)
大島	17.6	(+0.9)	3054.5	(108)	125	1899.6	(106)
三宅島	19.0	(+0.8)	3100.5	(105)	147	1676.3	(101)
八丈島	18.7	(+0.5)	2932.0	(90)	147	1420.8	(101)
父島	24.0	(+0.5)	1810.5	(143)	132	1937.8	(98)
千葉	17.5	(+0.9)	1826.5	(127)	105	2086.5	(111)
銚子	17.3	(+1.2)	2184.0	(130)	118	2193.1	(112)
館山	17.4	(+0.8)	2194.5	(121)	112	2114.8	(110)
勝浦	17.2	(+0.9)	2639.5	(134)	118	2091.4	(111)
横浜	17.4	(+0.8)	2052.0	(120)	104	2138.4	(110)
長野	13.4	(+0.7)	1061.0	(112)	98	2041.1	(106)
松本	13.4	(+0.8)	1213.5	(117)	87	2171.5	(105)
諏訪	12.5	(+0.7)	1498.0	(116)	100	2119.7	(101)
軽井沢	9.5	(+0.5)	1304.0	(105)	105	2074.8	(106)
飯田	13.9	(+0.4)	2178.0	(131)	118	2000.0	(99)
甲府	16.2	(+0.7)	1245.5	(108)	86	2234.7	(104)
河口湖	11.9	(+0.5)	1530.0	(97)	103	1994.3	(103)
静岡	18.0	(+0.8)	2502.0	(109)	101	2208.3	(106)
浜松	17.8	(+0.6)	2319.5	(127)	105	2240.8	(104)
御前崎	17.9	(+0.9)	2119.5	(102)	107	2304.8	(105)
三島	17.5	(+0.8)	2051.0	(111)	104	2107.1	(109)
石廊崎	17.8	(+0.7)	2093.0	(119)	113	2230.0	(107)
網代	17.2	(+0.6)	2173.5	(109)	111	1936.1	(109)
名古屋	17.3	(+0.7)	1985.5	(127)	107	2022.3	(97)
伊良湖	17.4	(+0.7)	2216.5	(137)	104	2183.4	(101)
岐阜	17.2	(+0.6)	2223.0	(121)	113	2033.3	(99)
高山	12.5	(+0.7)	1960.5	(113)	145	1657.3	(103)
津	17.3	(+0.6)	1834.5	(115)	116	2105.3	(103)
上野	15.7	(+0.7)	1649.5	(116)	113	1841.0	(105)
尾鷲	17.4	(+0.7)	4471.5	(114)	123	1908.3	(100)
四日市	16.3	(+0.8)	1977.0	(111)	114	1869.6	(97)
新潟	14.9	(+0.6)	1869.5	(105)	154	1809.0	(112)
相川	15.1	(+0.7)	1670.5	(109)	148	1838.9	(114)
高田	14.7	(+0.5)	2903.0	(108)	173	1762.0	(112)
富山	15.5	(+0.7)	2486.5	(109)	162	1742.4	(108)
伏木	15.1	(+0.5)	2552.0	(117)	167	1792.3	(110)
金沢	16.1	(+0.7)	2566.0	(112)	159	1869.3	(111)
輪島	14.7	(+0.6)	2031.0	(98)	160	1711.2	(109)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
福井	15.8	(+0.6)	2718.5	(124)	167	1802.3	(111)
	敦賀	16.6	(+0.6)	2297.0	(111)	151	1753.7
彦根	16.2	(+0.8)	1684.0	(108)	120	1921.1	(105)
京都	17.3	(+0.7)	2028.0	(135)	107	1848.5	(106)
	舞鶴	15.8	(+0.6)	1812.5	(97)	129	1665.8
大阪	17.9	(+0.4)	2008.0	(152)	98	2121.0	(106)
神戸	17.9	(+0.5)	1636.0	(130)	94	2124.8	(105)
	豊岡	15.6	(+0.6)	1904.5	(95)	148	1593.9
姫路	16.5	(+0.6)	1436.0	(116)	85	2061.6	(104)
	洲本	16.9	(+0.8)	1762.5	(114)	100	2071.4
奈良	16.7	(+1.1)	1632.5	(121)	105	1893.9	(106)
和歌山	17.8	(+0.5)	1715.5	(123)	92	2106.3	(103)
	潮岬	18.2	(+0.5)	2417.0	(92)	112	2211.7
岡山	16.8	(+0.6)	1191.5	(105)	91	2099.2	(106)
	津山	14.9	(+0.5)	1605.5	(115)	104	1848.0
広島	17.5	(+0.6)	2264.0	(146)	91	2033.9	(103)
	呉	17.4	(+0.5)	1961.5	(140)	86	2091.4
福山	16.5	(+0.4)	1560.0	(135)	84	2095.6	(104)
松江	16.3	(+0.8)	2158.5	(124)	144	1820.8	(108)
	西郷	15.6	(+0.8)	1910.0	(108)	136	1820.4
浜田	16.7	(+0.6)	1901.5	(117)	122	1875.7	(108)
鳥取	16.3	(+0.7)	2007.5	(108)	141	1759.8	(107)
	米子	16.4	(+0.7)	1848.0	(108)	137	1868.4
境	16.5	(+0.7)	2350.0	(127)	144	1806.1	(107)
徳島	17.6	(+0.4)	1480.0	(92)	98	2117.5	(103)
高松	17.7	(+0.6)	1133.5	(100)	96	2105.1	(105)
	多度津	17.4	(+0.5)	1273.5	(115)	87	2142.8
松山	17.7	(+0.6)	1545.0	(112)	96	2040.1	(104)
	宇和島	17.9	(+0.5)	1679.0	(98)	102	1951.6
高知	18.0	(+0.4)	3119.0	(118)	102	2138.6	(102)
	宿毛	18.2	(+0.7)	2413.5	(116)	111	2092.4
清水	19.1	(+0.4)	2934.0	(116)	107	2140.9	(101)
	室戸岬	17.5	(+0.3)	2929.5	(121)	111	2154.1
山口	16.8	(+0.8)	2128.0	(112)	106	1907.1	(105)
	下関	18.0	(+0.7)	1847.5	(109)	100	1972.1
萩	16.9	(+0.8)	1943.5	(117)	115	1881.4	(110)
福岡	18.6	(+1.0)	1976.0	(119)	100	1993.2	(108)
	飯塚	17.1	(+0.8)	2201.0	(123)	114	1960.1

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	17.8	(+0.7)	1480.0	(87)	87	1934.8	(100)
	17.0	(+0.9)	1874.0	(101)	103	1921.6	(109)
長崎	18.4	(+0.7)	2192.0	(117)	114	1892.3	(104)
	17.3	(+1.0)	2420.5	(105)	100	1851.8	(102)
平戸	17.4	(+0.8)	2702.0	(124)	111	1919.8	(110)
	18.4	(+0.8)	2220.0	(113)	112	2016.6	(107)
雲仙	13.8	(+0.5)	3710.5	(126)	124	1444.6	(103)
	17.9	(+0.6)	2773.0	(120)	126	1829.1	(107)
佐賀	18.3	(+1.1)	2478.0	(128)	99	2055.7	(107)
熊本	18.3	(+0.7)	2344.5	(118)	97	2052.1	(105)
	16.8	(+0.7)	2702.5	(108)	114	1795.0	(102)
牛深	19.2	(+0.7)	2507.0	(121)	114	2024.9	(106)
宮崎	18.5	(+0.4)	3120.5	(120)	126	2069.5	(101)
	17.6	(+0.4)	3160.0	(131)	119	2030.5	(98)
都城	17.6	(+0.5)	2797.0	(106)	133	1920.2	(102)
	18.9	(+0.2)	3086.0	(113)	129	1857.6	(98)
鹿児島	19.7	(+0.6)	2780.0	(115)	114	1991.9	(105)
	18.3	(+0.5)	2937.5	(133)	115	2024.6	(106)
枕崎	19.1	(+0.5)	2794.5	(122)	120	1976.0	(106)
	20.2	(+0.3)	4237.0	(93)	163	1472.1	(99)
種子島	20.4	(+0.3)	2260.0	(90)	129	1852.4	(104)
	22.1	(+0.1)	2908.5	(101)	165	1323.1	(101)
沖永良部	23.1	(+0.3)	1771.0	(97)	116	1880.8	(103)
那覇	23.8	(+0.3)	2422.0	(114)	126	1847.5	(109)
	23.3	(+0.3)	2467.5	(118)	141	1795.6	(106)
久米島	23.7	(+0.3)	2568.0	(117)	118	1873.8	(111)
	24.4	(+0.4)	1643.0	(81)	110	1907.1	(111)
石垣島	25.2	(+0.5)	1518.5	(74)	101	2080.3	(115)
	24.7	(+0.6)	1734.5	(80)	125	1988.6	(117)
与那国島	24.7	(+0.5)	1872.5	(83)	124	1852.5	(119)
	24.0	(+0.3)	1951.0	(122)	110	2161.8	(104)

日数の値の横の ) は、日数を求めるための日別データに欠測等が含まれていることを示す。

## 5 極値順位更新表 2021 年

平年差（比）が観測史上1位を上回っている地点（12月20日までのデータによる）

年平均気温の平年差が最高値を上回っている地点

地点名	2021年(12月20日まで)			これまでの最大 平年差(西暦年) ℃	開始年
	平年差 ℃	値 ℃	平年値* ℃		
札幌	+1.1	10.7	9.6	+0.9 (1990)	1877
旭川	+1.1	8.8	7.7	+1.0 (1990)	1888
留萌	+1.0	9.4	8.4	+0.9 (1990)	1943
羽幌	+1.1	9.4	8.3	+0.9 (1990)	1921
倶知安	+0.9	8.5	7.6	+0.8 (1990)	1944
小樽	+1.0=	10.2	9.2	+1.0 (1990)	1943
紋別	+1.0=	8.0	7.0	+1.0 (1990)	1956
釧路	+1.0=	8.0	7.0	+1.0 (2015)	1910
帯広	+1.1	8.7	7.6	+0.9 (2020)	1892
広尾	+1.1	8.7	7.6	+1.0 (2015)	1958
江差	+0.9=	11.6	10.7	+0.9 (1990)	1941
八戸	+0.9=	11.8	10.9	+0.9 (2004)	1936
秋田	+0.9	13.3	12.4	+0.8 (2019)	1882
大船渡	+0.9	12.9	12.0	+0.8 (2020)	1963
仙台	+0.9=	14.1	13.2	+0.9 (2020)	1926
石巻	+0.8=	13.1	12.3	+0.8 (1990)	1887
酒田	+0.8=	14.1	13.3	+0.8 (2020)	1937
小名浜	+1.1	15.2	14.1	+0.9 (2018)	1910
銚子	+1.2	17.3	16.1	+1.0 (2018)	1887
勝浦	+0.9=	17.2	16.3	+0.9 (2018)	1906
彦根	+0.8=	16.2	15.4	+0.8 (2020)	1893
奈良	+1.1=	16.7	15.6	+1.1 (2020)	1953
松江	+0.8=	16.3	15.5	+0.8 (1998)	1940
西郷	+0.8=	15.6	14.8	+0.8 (1998)	1939
米子	+0.7=	16.4	15.7	+0.7 (2020)	1939
境	+0.7=	16.5	15.8	+0.7 (2020)	1883
下関	+0.7=	18.0	17.3	+0.7 (2016)	1883
福岡	+1.0	18.6	17.6	+0.8 (2016)	1890
飯塚	+0.8=	17.1	16.3	+0.8 (1998)	1935
巖原	+1.0	17.3	16.3	+0.8 (1998)	1886
平戸	+0.8=	17.4	16.6	+0.8 (2016)	1940
佐世保	+0.8=	18.4	17.6	+0.8 (2016)	1946
佐賀	+1.1	18.3	17.2	+1.0 (2016)	1890

年平均気温の平年差が最低値を下回っている地点  
なし

年降水量の平年比が最大値を上回っている地点

地点名	2021年(12月20日まで)			これまでの最大 平年比(西暦年) %	開始年
	平年比 %	値 mm	平年値* mm		
大 阪	152	2008.0	1320.1	140 (1903)	1883

年降水量の平年比が最小値を下回っている地点

なし

年間日照時間の平年比が最大値を上回っている地点

地点名	2021年(12月20日まで)			これまでの最大 平年比(西暦年) %	開始年
	平年比 %	値 h	平年値* h		
水 戸	113=	2178.7	1933.4	113 (1943)	1899
銚 子	112=	2193.1	1954.8	112 (2014)	1899
館 山	110	2114.8	1931.0	109 (2014)	1968
西 表 島	117	1988.6	1696.7	110 (2018)	1958

年間日照時間の平年比が最小値を下回っている地点

なし

平年値\* は日別平年値を平均・合計したものである。

(注) これらは12月20日までの観測値を使った集計結果であるので、年末までのデータを加えた確定値では変わる可能性がある。

平年値(\*) は日別平年値を平均または合計したものである。

平年値とは1991～2020年の30年間の値を平均したものである。

○本資料に関連した各地点の所在地等の情報は、気象庁ホームページに掲載しています。

ホーム > 各種データ・資料 > 過去の気象データ検索 > 利用される方へ > 地上気象観測地点一覧

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>



(注意)

当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

また、最新のデータを追加した上で、毎月15日頃に気象庁ホームページの「日本の天候の特徴と見通し」で詳しく解説しています。

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/>

